

第2学年 生活科学習活動案

日時：平成14年10月18日（金）6校時

児童：2年1組（男11名女11名計22名）

指導者：鶴田 修

場所：教室

1 単元名 町となかよし

2 単元について

(1) 単元について

本単元は、学習指導要領の内容（3）「自分たちの生活は地域の人々や様々な場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみを持ち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする」（4）「公共物や公共施設はみんなのものであることやそれをささえている人々がいることなどが分かり、それらを大切にし、安全に気を付けて正しく利用することができる」（5）「身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることや、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする」に基づくものである。

本単元では、春の町探検を発展させ、地域社会とのかかわりをさらに深めることをねらいとしている。普段当たり前に思っている地域社会での生活を意識させることにより、さらに深くかかわりたいという思いをもたせたい。地域のよさを発見し、さらに町を好きになるよう、人や自然とのかかわりを深める活動をしたい。そして、自分が大好きで大切にしたい場所や人を見つけ、この町に暮らしている喜びを感じさせたい。これらの活動を通して、地域社会の一員としての「気づき」の第一歩としたい。

(2) 児童について

学級の児童は、どの教科も意欲的に取り組んでいる。特に、生活科の学習を好み楽しみにしている。春の町探検では、お店や自然を中心にたくさんの「ひみつ」を見つけることができ、また町に出る機会を心待ちにしている。反面、活動は楽しむが、まとめる活動で、友だちに何を伝えたいのか整理できない児童もいくらかいる。

コンピュータを使った学習には1学年から慣れ親しんでおり、どの子も意欲的である。2学年では、プリントファイルの表紙を作ったり、一部の児童が町探検のまとめをコンピュータで行ったりした。

(3) 指導にあたって

本単元の指導を通して、6月に探検した区域から範囲を少し広げ、さらに地域の人々や自然に積極的に関わろうとするようにさせていきたい。「町にもう一度飛び出したい。」という意欲を喚起し、春に関わった地域の人ともっと仲良くなり、「町のひみつ」から一歩進んだ「町のすてき」に気付かせたい。

(4) 単元におけるコンピュータ活用

本単元では、コンピュータをまとめ・伝達の道具として活用する。町探検の様子をデジタルカメラで撮影し、その写真を使ってグループごとのまとめ・発表の手段として使用すれば、児童の意欲が持続し、相手に分かりやすく伝えることができるのではないかと考える。

また、学習の子どもたちの活動やまとめを、「山田町子ども電子マップ・南小編」に記録しておき、いつでも取り出して見ることができるようしておく。これを最後の時間にみんなで見て学習を振り返り、お礼の手紙を書くための意欲付けとしたい。

3 単元の目標

(関心・意欲・態度)

- ・地域に親しみをもってかかわるとともに、公共施設を大切に利用しようとする。
- ・進んで地域の人々や公共施設などとかかわり、自然や行事、暮らしについて調べようとする。

(思考・表現)

- ・地域との適切なかかわり方や公共施設の利用方法について考え、安全に生活することができる。
- ・地域の人々や公共施設などとかかわり、自然や行事、暮らしについて調べるとともに調べたりかかわったりして気づいたことを工夫して表現し、教えあうことができる。

(気づき)

- ・自分の生活は、地域の人や様々な公共施設とかかわりをもっていることが分かる。

4 活動計画 (12時間)

活動内容	時間	コンピュータおよび周辺機器の使い方
町ともっとなかよくなろう ・行ってみたい場所や調べてくることについて話し合う。 ・約束を守って、楽しく探検する。	6時間 2 4	デジタルカメラ、ビデオカメラ
町のすてきを発表しよう ・紹介する内容や方法を決める。 ・紹介するときに使うものを準備する。 ・グループごとに発表する。 ・お世話になった人にお礼のお手紙を書く。	6時間 1 3 1 1 (本時)	コンピュータ (まとめの道具) コンピュータ、プロジェクター (伝達の道具) コンピュータ (意欲を喚起させるための道具)、プロジェクター

5 本時の活動

(1) 目標

(関心・意欲・態度)

- ・お世話になった人に感謝の気持ちをもつことができる。

(思考・表現)

- ・お世話になった方への感謝の気持ちを表現することができる。

(気付く)

- ・自分たちの生活がたくさんの人に支えられて成り立っていることに気付くことができる。

(2) コンピュータ活用の視点

町探検でお世話になった人にお礼の手紙を書く際に、山田町子ども電子マップにまとめてある自分たちの活動を見て学習を振り返らせることで、意欲的に取り組むことができるのではないかと考える。

- <使用者>教師、児童 <場面>導入 意欲を喚起させるための道具
 ○使用ソフト インターネットエクスプローラー 山田町子ども電子マップ
 ○周辺機器 プロジェクター

(3) 展開

- ◎主発問 ●指示 ◇支援 ☆評価

段階	学 習 活 動	主発問と指示・予想される反応	支援と評価の工夫
つかむ 3分	1 学習内容をつかむ。 2 学習課題をつかむ。	◎きょうは、「町のすてき」で勉強したことを振り返りお世話になった人にお礼の手紙を書きましょう。 学習したことをふりかえり お世話になった人に手紙を書こう	◇今日の課題は「お世話になった人にお手紙を書く」ことであることを確認する。
見通す 7分	3 単元の学習を振り返る	◎子ども電子マップを見て学習を振り返り、お世話になった人を思い出しましょう。 ・駅の人（駅員さん） ・図書館の人 ・魚市場の人 ・役場の人 ・郵便局の人 ・幼稚園の先生	◇コンピュータ活用（意欲を喚起） ◇自分たちの活動を振り返りながら、お世話になった人を確認する。 ☆たくさんの人のお世話になっていることに気づいたか。（発表）
ふかめる 25分	4 お世話になった方にお礼の手紙を書く。 5 ゲストテイチャーの話を聞く。	◎お世話になった人にお礼のお手紙を書きましょう。 ・自分たちがお世話になった人に手紙を書く。 ・グループごとに書く。 ◎たくさんの人にお世話になりましたが、今日はその中の○○さんが教室にいらしてくださいます。お話を聞きましょう。	☆見学の内容やお世話になった方への感謝の気持ちが書かれているか。（観察） ◇ゲストテイチャーとは事前に打ち合わせをし、学習の補足や子どもたちの活動についての評価を話してもらおう。 ☆意欲的に聞いているか。（観察）

段階	学 習 活 動	主発問と指示・予想される反応	支援と評価の工夫
ま と め る 1 0 分	6 学習のまとめをする。	◎感謝の気持ちをこめてお手紙を〇〇さんに渡しましょう。 ●振り返りカードに、今日の学習について記入しましょう。	◇言葉を添えて手紙を

(4) 評価

(関心・意欲・態度)

・お世話になった人に感謝の気持ちを持つことができたか。(発表・観察)

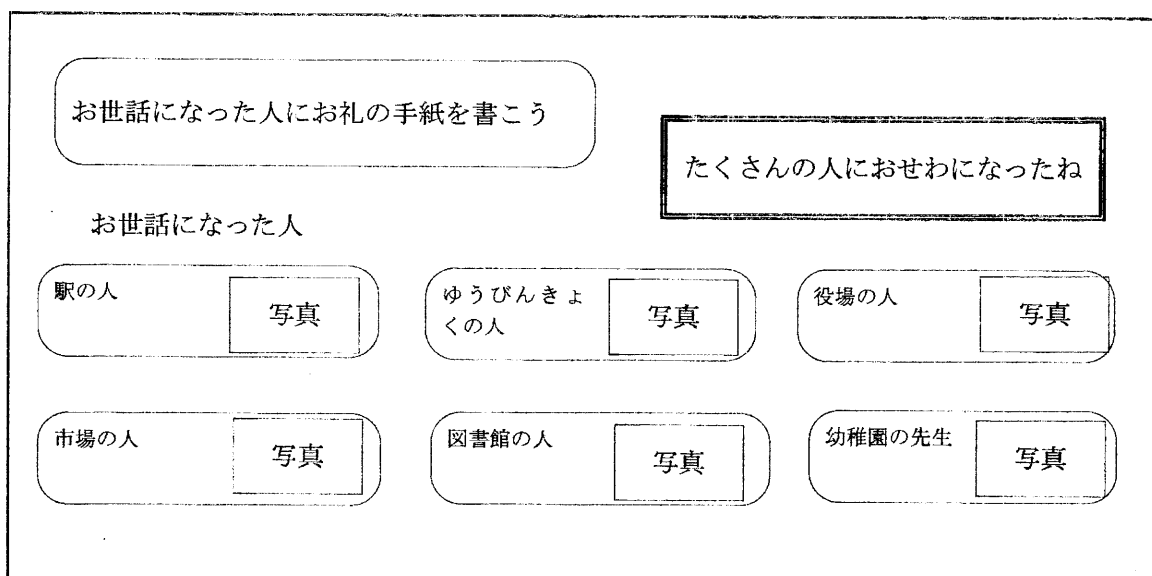
(思考・表現)

・お世話になった人たちへの感謝の気持ちを表現することができたか。(発表)

(気付き)

・自分たちの生活がたくさんの人に支えられて成り立っていることに気付くことができたか。(発表・シート)

6 板書計画



スクリーン

